

市民の皆様と共に歩んだ4年間



▲市民の声から今泉清掃工場をいっとき避難所として使えるよう実現しました！



▲議会での質疑
少しでも市民の皆様の暮らしを豊かに



▲地域の声に応じてインフラの整備を実現していきます



▲ママ座談会を定期的に行い、子育て世代の声を市政に反映していきます



▲不登校特例校の開設
子どもたちに公平で質の高い学びを！



▲交通指導隊として
地域の安全安心をこれからも守ります



▲仙台市のフードドライブ事業
全ての人に健康的な食事を



▲子どもたちを守るために、すべての児童館でステッカーを設置



▲地域の子どもたちにも市議会議員としての仕事を伝える

- 若林6丁目、上飯田3丁目地区の汚泥清掃 ●昭和市電通りの植栽伐採・剪定 ●沖野3丁目、若林6丁目の道路標示敷設 ●私道整備の補助推進 ●新寺2丁目の歩道植栽改善 ●宮沢緑地のリニューアル ●河原町2丁目のハンサムネット設置 ●八軒中学校学区の白線再敷設 ●市内児童館への防犯ステッカー設置 ●貨物輸送業者への燃料費支援 ●り災証明書のオンライン申請の実施 ●ICT教育、オンライン授業の推進 ●仙台市営地下鉄の安全対策推進 ●仙台市陸上競技場ウォーミングアップレーンの改修 ●地域猫活動の推進 他多数

仙台市議会議員の選挙期日等が決定 **公示日 7月21日(金)** ▶▶▶ **投開票日 7月30日(日)**

後援会事務所がオープンしました！



多くの皆様から激励をいただきました。心より感謝申し上げます。地域からの声を引き続き届けるべく、全力で頑張ります！



〒984-0816
仙台市若林区河原町1丁目1-30

街頭からのご挨拶！



昨年の12月から再開した街頭活動も100回を超えました。立哨中にも多くの声をお寄せいただきます。雨や風にも負けず続けていきます。皆さんに笑顔で「いってらっしゃい！」

情報発信中です！



選挙ドットコム
猪又たかひろページ

猪又たかひろ
プロフィール
昭和58年9月24日、栗原市生まれ。仙台市立若林小学校・八軒中学校を経て、仙台高校(吹奏楽部 部長)、東北学院大学卒業(高校社会科教員免許取得)。12年間の衆議院議員秘書(政策担当秘書)を経て、現在、仙台市議会議員(1期目)。趣味は、マラソンと音楽。

- 【活動】
- ・ 広瀬川灯ろう流し実行委員会 顧問
 - ・ (公社)仙台青年会議所 会員
 - ・ 宮城掃除に学び会 世話人
 - ・ 保護司(若林区保護司会在籍)
 - ・ 交通指導隊(荒町地区分隊長)
 - ・ 仙台市地域防災リーダー(南材地区)
 - ・ 南材小学校 PTA 監事
 - ・ 南材おやじ倶楽部 事務局長
 - ・ 八軒中学校同窓会 役員
 - ・ 仙台高校同窓会 役員
 - ・ デジタル庁デジタル推進委員
 - ・ こどもまんなか応援サポーター

仙台市議会議員

猪又 隆広

いのまた たかひろ

スタート

Start

仙台市政報告書 vol.014

第14号
発行：猪又隆広事務所
〒984-0816
仙台市若林区河原町1丁目2-52
TEL.022-216-3351
FAX.022-216-3352
https://inotaka.info
✉ takahiroinomata0924@gmail.com

始めよう！～ともしつくる新しい若林のまちづくりを～



仙台市議会議員 猪又 隆広

御挨拶

令和5年第2回定例会が6月9日に閉会しました。今定例会は任期を締めくくる議会であり、58年続いた現在の仙台市議会議事堂での最後の議会となりました。今定例会では、物価高騰対策、特に福祉施設や学校、子ども食堂などにおける食料費高騰支援に係る予算に加え、医療機関や公共交通事業者等への物価高騰下における経営支援が提案されました。ただ、現下の状況を考えると、まだまだ支援が行き届いていない部分が多くあります。地域を歩く中で、お寄せいただいた声を市政の最前線に届けるべく、引き続き励んでまいります。振り返ってみるとこの4年間は、東日本台風や地震などの自然災害や新型コロナウイルス感染症による行動制限などにより、自身が思い描いていた議員活動はなかなかできなかったのが本音です。そのような中でも、地域の飲食店や中小事業者の皆さんへの各種支援金をはじめ、コロナ禍での医療提供体制の確保の在り方、学校や家庭での子育て・教育支援、避難所運営、環境や文化、まちづくりなど多岐に渡る仙台市や若林区の課題に数多く触れ、大きく成長できた4年間でもありました。この夏には仙台市議会議員選挙があります。これまでの取り組みや市政全般の考え方を発信するとともに、これから先の未来に対してのお約束にも、責任が持てる30代の仙台市議会議員として、若林区の皆さんとともに新しいまちづくりの在り方をともに考え、形にしていきたいと思っております。

市政あれこれ：仙台市からのご案内 (6月15日現在)

地域企業デジタル化推進事業

■ デジタル化推進補助金の目的

物価高騰等の影響を受ける地域の中小企業において、デジタル化によりコスト削減や売上拡大に取組み、継続的に収益力の向上を図ることが重要であることから、その取り組みを支援するため、専門家によるコンサルティング及びデジタル化に要する一部経費の補助を一体的に実施いたします。

■ 対象者

仙台市内に本店を有する中小企業者又は個人事業主

■ 対象事業

専門家によるコンサルティングを受けながら、業務のデジタル化やITツールを活用したビジネスモデルの転換に取り組む事業

【活用例】

- 勤怠管理、会計処理、電子承認、ワークフローシステム等の導入
- RPAの導入 ● 営業支援システム(顧客管理等)の導入
- ECサイトを活用した販売機会の拡大 など

■ 対象経費

対象事業の実施に要する経費(ソフトウェア導入費、ハードウェア導入費、クラウドサービス利用料、Webサイト構築・改修費、外注費など)

■ 補助上限額・補助率

補助上限額50万円、補助率1/2

■ スケジュール(予定)

- ①8/1～9/11 申請受付(申請者多数の場合は、締切日前に受付を終了する可能性あり)
- ②9/28 採択者決定

詳細は、仙台市産業振興事業団ホームページ等でご案内します。

介護の現場で働く方向け

「Date(DATE) care(ケア) お気軽電話相談窓口」

◆ 窓口開設期間と受付時間 ◆

令和5年6月から令和6年2月までの
毎月 第4木曜日 16:00～20:00
11月、12月は別日になりますので改めてご案内します。

◆ 電話番号 ◆

080-1802-1736

事前に予約いただける場合には、その時間に相談員から電話をおかけいたします。また、LINEのトーク(メッセージ機能)による相談も受付します。

◆ 相談の例 ◆

仕事の内容に関すること・処遇に関すること・人間関係に関すること・心身の健康に関することなど
これらに限らず、介護の現場に関するご相談をお受けします。必要に応じて他の専門機関への紹介なども行います。
秘密厳守※で、ご相談をお受けします！
※相談員が、相談される方のお名前・ご住所・勤務先・連絡先など個人に関する情報をお聞きすることはありません。

LINEでの相談

右記の二次元コードから読み込み、「友だち追加」をしてください。窓口開設時間帯に相談員がトークでご連絡します。



事前予約申し込みフォーム

「指定の時間に相談員から電話をかけてきてもらいたい」場合は、右記の二次元コードよりご希望の時間帯をお申し込みください。



①【粗大ごみや家庭ごみを自己搬入した際の手数料】

Q: 本市では廃棄物を自分で処理施設に持ち込む自己搬入を行っていますが、その際の手数料について市民の方から100キロ以下一律の手数料を見直せないのだろうかご相談がありました。本市では100キロまでは一律1,500円、100kgを超過した場合は10kgごとに150円ずつ加算するという手数料設定を行っています。他の政令市の平均手数料額が100kgあたり1,514円ですので、受益者負担の考え方や処理費用から見ても適正な手数料といえます。ご相談いただいた方からは、**なぜもっと細かい10kg単位での計量ができないのか**という内容でした。細かい市民ニーズにもしっかりと対応していくためにも、他の多くの政令市のように、**市民や事業者が持ち込む一般廃棄物の処理手数料を、10kg刻みで算出することを検討すべきと提案をいたしますが、ご意見を伺います。**



A: 自己搬入の手数料につきましては、費用負担の適正化の観点から、焼却や埋立などごみ処理に係る費用を勘案し、定期的に改定してまいりました。直近の改定である平成30年4月には手数料額の引き上げと併せまして、それまでの一律100kg単位から、100kgを超過した場合には10kg単位とする仕組みを導入したものでございます。手数料区分の更なる細分化につきましては、**令和7年度に予定をしている一般廃棄物処理基本計画の中間見直しの中で、手数料水準のあり方と併せ、検討してまいりたいと存じます。**(環境局長)

②【仙台国際ハーフファミリーラン】

Q: 去る4月29日に「仙台ハーフファミリーラン」が開催されました。私自身「2km親子ペアの部」に小3の息子と走ってまいりました。本イベントから、体を動かすことの大切や、運動不足の解消はもとより、親子で手をつなぎ完走する様子は、親子にとって思い出の1ページに残る大切なイベントだと現場で強く感じました。今回のファミリーランは初の試みということもあり、小学校1~3年生ということに限定しました。**今回のイベントは来年以降も継続し、その対象を小学校6年生まで拡充することを提案いたします。**このファミリーランがきっかけで、将来の仙台国際ハーフマラソンに参加する市民ランナーの卵や仙台出身のプロランナーとして世界に羽ばたく子どもが出てくることを期待しています。**対象児童の小学校6年生までの拡充について当局のお考えはいかがか。**



A: 今回、スポーツに親しむ方々の更なる裾野の拡大を図るべく、新たに仙台ハーフファミリーランを開催したところでございます。幼少期における運動体験は、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現とともに親子の絆づくりにも繋がるものと認識しております。こうしたイベントは、ハーフマラソン大会そのものの魅力アップにもつながるものであり、今後とも、多くの子供達に家族とのふれあいのもと楽しんでもらえるよう、**対象となる学年の拡充も含め、イベント内容の充実について検討してまいりたいと存じます。**(文化観光局長)

tips 他の政令市では?
1 持込不可 20 川崎市
3 持込無料 20 静岡市, 岡山市, 広島市
3 一律100kg 20 仙台市, 京都市, 堺市
13 10kg単位 20 福岡市等の13政令市

tips 本大会は、「5kmの部」「2kmの部」さらに小学校1~3年生の児童を対象とした「2km親子ペアの部」が実施され、中でも親子ペアの部は大変な人気で、予想を超える募集があったと聞いております。私も令和元年第3回定例会で仙台ハーフマラソンの30回大会の節目のイベントとして、親子マラソンを開催すべきと提案してまいりました。

③【いじめによる子どもの自死をなくす決意と取組】

Q: 平成30年に起きた市立小学校2年生の女子児童と母親が心中した事件で、市長は遺族から求めた、いじめ防止対策推進法に基づく再調査を実施しない方針を示しました。再調査をしないという方向性を示したのであるならば、今後、本市の子どもたちがいじめによって、誰一人として自らの命を絶つという選択をさせないための教育環境、ご家庭との関係を作っていくという覚悟を市長自ら先頭に立って見せる必要があると思えます。**市長、この先本市の子どもたちがいじめによって、自ら命を絶つといった悲しい事案が二度と起こさない。そういった強い決意を市長の言葉でお答えください。**



A: 私は子どもたちの成長の過程において、いじめは決して許されるものではないことや、かけがえのない一人ひとりの子どもの命をいじめから守ることを強く意識し、学校はもとより、家庭、社会全体でいじめを防ぐ環境づくりに取り組んでまいりました。この度、いじめ問題専門委員会からいただいたご提言を私自身も肝に銘じ、いじめ事案の、この再発防止策を実効性のあるものとしていくことが重要であると強く認識をしています。私自ら先頭に立って、施策の検証と不断の見直しを図りながら、教育委員会とともにいじめの防止対策に力を尽くしてまいります。(市長)

【その他の質問やトピックスこちらから】

■ 仙台市の源泉所得税徴収ミス ~新たにできた交通指導隊分~
今回の質疑のポイントは、交通指導隊員の出動報酬の確認のために、いまだに複写式の紙の出動日報を使っているという点でした。日付と天気以外はほぼ同じ内容を記載しているのに隊員からは手間だとの声も上がっています。今後は、分隊長がデータで全隊員分の出動状況を管理し、担当課にメールで提出したり、クラウド上でのデータ共有など新たな仕組みづくりも必要となると考えます。
質疑の様子はこちらから

常任委員会開催!

所属する都市整備建設委員会にて副委員長の任を預かっておりますが、途中交代し、委員長としての職務を務めました。今回の5月の委員会では、地域交通の現況や今後の支援について、藤塚地区の公園整備や東部沿岸エリアの跡地利用状況など質疑がありました。



猪又たかひろの議会での質問の様子をいつでも確認できます。詳細は「仙台市議会インターネット中継」で検索ください!!



▲拉致被害者救出のための署名活動
毎月最終日曜日に藤崎ファーストタワー前で実施している、北朝鮮に拉致された日本人救出のための署名活動へ参加しました。短時間で多くの方に署名いただき、関心の高さがうかがえました。ご署名いただいた一筆一筆が拉致被害者全員の奪還につながる大きな力となります。できることを一つ一つ取り組んでいきたいと思えます。



▲田植えを通じて生産者の声を聴く
若林区六郷の農家さんのもとへ田植え体験に息子とお邪魔しました。素人でもすぐに運転できる自動田植え機の有能さには本当に驚かされます。肥料の高騰、農家の担い手不足、耕作放棄地、価格競争、スマート農業など、さまざまな課題についてお聞かせいただきました。食は生命の源であり、生きる上での基本です。農業を守る取り組みを進めていきます。



▲地域イベント復活!
地域行事が復活してきています。南材学区民大運動会では南材おやじ倶楽部の仲間とともに設営や準備にあたりました。短距離走からすずめ踊り、花笠、ソーランと子どもの笑顔がたくさん見れた運動会でした。最後のアンカーの子が転んでしまいましたが、ゴールに向かう懸命な姿に、皆で声援を送り拍手で讃えていた姿にジーンとききました。



▲仙台の魅力を創出
『第40回全国都市緑化仙台フェア 未来の杜せんだい2023~Feel green!~』が閉幕しました。期間中は多くの市民ボランティアの皆様や、関係者の皆様の尽力により、目標の100万人を超える来場者がありました。大花壇「はなばた飾り」を筆頭に、造園業者の皆さんによる見事な庭園や、市内各地での連動したイベントで多くの魅力を発信する契機となりました。

貨物運送事業者向けの燃料費負担の再度の支援を!

宮城県トラック協会仙台支部役員の皆様とともに、郡仙台市長への要望書提出へ!
公共物流サービスを担うトラック運送事業者は、私たちが日々暮らす生活に必要なものの輸送・運搬を行っている、エッセンシャルワーカーです。今後、2024年問題などトラック事業者の環境が大きく変わります。今後も大切な荷物がしっかりと届くためにも、皆で理解を深めていかねばなりません。



海岸公園(藤塚地区)基本計画案

全天候型遊び場や貞山運河までの移動手段、拠点施設、デイキャンプ場、カフェ等の整備につきましては、今後民間事業者の意向も聴取しながら内容を精査して、関係部局とも連携を取り、東部沿岸地域全体のにぎわい創出につながるよう検討が進んでいます。
※イメージ

現地現場主義! 地域の諸課題に全力投球!

上飯田3丁目、地区雨水ますの完了 汚泥清掃
大雨時に冠水することから、常日頃より側溝の蓋を上げて自主的に清掃を行っている地域です。雨水ますの中に、一部汚泥が固まったところもあり、専用の機械がないと対処が難しいとご相談いただきました。今回、41箇所中17箇所の雨水ますに溜まった汚泥を取り除き清掃いただきました。



河原町1丁目道路改良工事 進行中
2022年の3月から道路課に要望していた、河原町1丁目地区の道路改良工事が今年の7月から着手して今年度中に完了予定となりました。河原町エリアでは一帯的に道路改良が行われていたが、当該のラインは漫用地等の課題があり、道路修繕が遅れていました。今般地域からの再度の要望を受け実現しました。



南鍛冶町地区道路改良工事 進行中
旧奥州街道沿いの南材木町~南鍛冶町間は昔のバス道路ということで舗装が厚塗りされています。そのため、歩道部分がかまぼこ型になっていることから、ベビーカーやカートを引く際に歩きづらいとの声が寄せられていました。穀町~南鍛冶町間(県道前まで)は、下水道管の入れ替え工事が完了し、今後、ガス管の入れ替え工事後、道路改良工事を令和5年度中に改修することが決定しました。



他にも地域の声をカタチにするため、順次取り組み中です!